

第 43 回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会
第 55 回バドミントン大会（団体戦の部）感染症対策等に関する注意事項

令和 5 年 3 月 7 日
新潟県スポーツ少年団バドミントン専門部

本大会は、日本バドミントン協会が令和 2 年 6 月 12 日発出及び令和 3 年 2 月 8 日、令和 5 年 1 月 22 日に発出した第 3 版「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」（第 3 章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって）に基づき競技大会を実施します。参加チームの代表・監督・コーチ・父母等保護者は、ガイドライン第 3 章を熟読し競技大会に臨んでください。なお、特に注意する点として、以下のとおり列記しました。

1 感染症対策に関する注意事項

- (1) 当日朝の体温が、選手は 37.5℃、大人は 37.0℃以上で、体調に異変を感じたときには、参加を中止してください。
- (2) 単位団ごとに体育館に入場してください。会場の入口で、消毒液での手指の消毒及び検温器での検温をお願いします。
- (3) 各単位団の代表者は、次の書類を受付に提出してください。
 - ①当日会場入場者名簿
※大会会場に入場する全員について記入してください。
 - ②新型コロナウイルス感染症対策申告書
※1人1枚ずつ記入して、上記①の記載順に並べてください。
- (4) 新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、密解消のため、当日参集のスポーツ少年団登録指導者以外は、参加選手2人につき1人の引率者及び保護者等とします。ご協力をお願いいたします。ただし、参加者多数のとき、または新型コロナウイルス感染状況によっては、引率者及び保護者等の入場をさらに制限することもあります。
なお、一定時刻での換気も求められておりますので、指示によりご協力をお願いいたします。
- (5) 開会式は観客席に座ったままで行います。
- (6) 閉会式は行いません。3位以上の入賞者は、競技終了後、表彰を行いますので、本部にお集まりください。
- (7) 選手は、フロアへの入退場時には、指定された通路を通り、フロアに置いてあるアルコール液により、こまめに手指の消毒を行ってください。
- (8) 観戦は、単位団毎に指定された観客席で行います。他の単位団の観客席には立ち入らないでください。フロアには、選手とコーチや審判団以外は立ち入らないでください。
- (9) 応援は拍手のみとしてください。
- (10) ランニング走路でのアップ（ランニング等）はできません。
- (11) マスク着用の規制が緩和されましたが、引き続きプレー以外（待機時やコーチング、観戦時及び審判団構成時等）は、マスク等の着用をお願いします。特に声を発すると思われる際は、できる限り着用を心がけてください。但し、マスクの脱着についての強い要請はしません。
- (12) 換気のため、窓及び一部の扉を常時開放します。また、試合途中であっても、試合進行を中断して換気時間を設ける場合があります。

- (13) すべてのごみは持ち帰り、自宅で処分してください。
- (14) 試合結果の掲示場所では、結果はスマホで撮影し観覧席で確認する等、密にならない対応をしてください。
- (15) コーチングは、一定の距離を保った上で行うこととします。大会進行上2コート以上で対戦することもあります。所定の場所には1コートに1人が入ることとします。コーチ席は距離を開けてバックバウンダリーラインの後ろに設けます。
- (16) ベンチ席、コーチ席、線審席を使用した後は、椅子の下に置いてある除菌シートで椅子を拭いてください。使用済みの除菌シートは、壁際のゴミ袋に入れてください。
- (17) プレーヤー又はコーチとの握手やハイタッチは禁止します。
- (18) シューズの裏を手で拭くことはしないでください。各自で、コーチ席下に、滑り止めのシートや濡れ雑巾（ビニールシートを敷くこと）を用意してください。その使用については、インターバルないし主審が認めたときとします。
- (19) 試合中、選手やコーチ及び保護者は、意識的に大声を出さないでください。
- (20) 大会（試合）終了後、退館の際は、自団のいた観客席を必ず除菌消毒してお帰りください。消毒液などは参加単位団で用意願います。
- (21) 大会参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症したときは、速やかに新潟県スポーツ少年団に報告してください。

連絡先

（公財）新潟スポーツ協会新潟県スポーツ少年団
〒950-0933 新潟市中央区清五郎 67 番地 12 デンカビッグスワンスタジアム内
TEL：025-287-8600 FAX：025-287-8601 E-mail：suposyo@niigata-sports.or.jp

2 競技審判上の注意

- (1) 本大会は、令和5年度（公財）日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規程に基づき実施します。
- (2) 団体戦では、対戦当該チーム同士で試合のない指導者及び保護者並びに団員（選手）で審判団を構成してください。個人戦では、各コートの第1試合を指定しますが、その後は敗者審判とします。低学年などで主審ができないときは、同一チームの指導者及び保護者並びに団員（選手）が代わって務めてください。なお、サービスジャッジは原則として配置しません。
- (3) 試合が放送によりコールされたら、観客席から指定コートに直接集合してください。
- (4) 試合開始前の公式練習が設定されないときは、コート入場後のマッチ前の練習は、主審の指示により初戦のみ3分間行います。シングルスの場合は、対戦相手とダブルスはパートナーと行ってください。この際のシャトルは、持ち寄りいたします。開会式前に公式練習が設定されたときはマッチ前の試打は行いません。
- (5) 試合が連続する場合は、原則として、試合終了後、次の試合開始までに10分程度の間隔をあけます。
- (6) 試合開始前および終了後の選手同士の握手や試合終了後の主審との握手は禁止します。但し、相手に誠意をはらって、会釈をすることを心掛けてください。
- (7) 大会進行上、15点3ゲームマッチで実施するマッチもあります。14点オールとなったときの延長は21点までとします。正規ポイントでは競技規則どおりの延長とします。

- (8) 各試合(マッチ)のインターバルは次のとおりです。
- ①15 点 3 ゲームマッチにおいては、一方のサイドが 8 点になったとき、及びゲームとゲームの間は、60 秒を超えないインターバルを認めます。インターバル終了 20 秒前にはコートに入ってください。
 - ②正規ポイントでのマッチでは、競技規則どおりのインターバルになります。インターバル終了 20 秒前にはコートに入ってください。
- (9) インターバル中のアドバイスは、同時に 2 人までコートに入ってもよいですが、主審が「20 秒」とコールしたら、すみやかにコートから離れ、選手はコートに入ってください。
- (10) 試合(マッチ)中の水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。コートサイドにはかごを用意しません。各自ラケットバックに、飲み物など必要な持ち物を収容しコート脇に持ち込んでください。水分補給用の容器は、倒れても中身がこぼれないものを使用してください。ラケットバッグ外のクーラーバック等はソフトタイプとします。氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。ウチワ等をコートサイドに持ち込むことはできますが、クーラーバック等と同様にコーチ席下においておき、その使用はインターバル中のみ認めます。
- (11) 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認めません。
- (12) シャトルは公認試合球を使用します。シャトルの交換については主審が決定しますので、指示に従ってください。
- (13) 主審のコールは、ラブオールプレーやインターバル、プレー、ゲーム、マッチ及びフォルト等必要最小限とし、ポイント及び選手名等はコールしません。線審も合図だけで、主審とアイコンタクトをし、コールはしません。
- (14) 主審で用いるエンピツやガバン、消しゴム及びストップウォッチは参加する単位団で用意持参願います。
- (15) 毎試合後、得点係から率先して、除菌シートで消毒をしてください。
- (16) 試合中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じて競技役員長(レフェリー)を呼んだ時は、競技役員長(レフェリー)の判断に従ってください。
- (17) 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、当該選手及びコーチに限ります。試合(マッチ)中、インプレーでない時のアドバイスはコーチ席に座って行い、試合(マッチ)中はコートのそばに立ってはいけません。また、コーチが他のコートに移動したいときは、必ずインプレーでないときに行ってください。
- (18) 競技フロア内での携帯電話等の使用は、一切認めません。携帯電話等は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- (19) 試合中にモバイル機器 (i P a d・携帯電話等)を使用したアドバイス・コーチングは禁止します。
- (20) 試合中の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、試合時必ず上着の背面中央に単位団名(略称でも可)と氏名(フルネームでも可)を明記してください。ゼッケンの大きさは、縦 15~20 cm、横 20~30 cmとします。なお、文字の大きさは大会運営規定 24 条を適用(高さ 6 cmから 10 cmを厳守)し、ユニフォームの広告(ロゴ)については、平成 21 年 8 月 15 日付の日本小学生バドミントン連盟文書のとおりとします。また、ゲーム開始時には上

衣の裾は下衣の中に入れてください。ゲーム中に出た場合は、インターバル時に再度入れてください。

- (21) 毎試合終了後、当該試合の審判団は、コートのもップ掛けを行ってください。
- (22) コーチの服装は公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し、体育館シューズで入場してください。
- (23) 大会進行上支障がないときは公式練習を行うときもあります。
- (24) 選手の棄権については、監督者会議で報告してください。
- (25) 強化指定選手などの種々情報収集をしますが、原則前年度のこの大会の結果を基に、各地区の交流を考慮して組み合わせをします。組み合わせについては、大会の主管団体に一任しています。事前の発表もしませんが、予めご了承をお願いします。

3 一般上の注意事項

- (1) 開場は、午前8時15分です。
- (2) 競技会場では、競技役員（係員）の指示や会場の指示に従い、「外履き」と「内履き」の区別を徹底してください。
- (3) 団(クラブ)旗・応援旗等を使用する際には、競技に支障のないように配慮をお願いします。
なお、大会本部が競技・大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従ってください。
- (4) フラッシュ・ストロボを用いての写真撮影等、競技に支障をきたす行為は禁止します。また、競技会場内の電源(コンセント)の使用は禁止します。
- (5) 競技会場の外から持ち込んだゴミは、各自が責任を持って持ち帰ってください。
- (6) 競技中の疾病・傷害については応急処置のみ行いますが、その後は各自で処置を行ってください。なお、本大会では、傷害保険等には入っていません。大会開催要項に記されているとおり、スポーツ安全保険等に必ず加入しておいてください。
- (7) 防犯上、貴重品をはじめ私物の管理は、各自で責任を持って行ってください。
- (8) 競技会場の観覧席から応援する場合、フロアへの落下防止のため、最前列は着席して応援してください。
- (9) 競技会場内の通路等での「素振り」「シャトル打ち」は大変危険ですので、行わないようにしてください。